

■各種商品に対する開発者からの説明とそれに対する質疑応答

1. ヒューマニー／尿吸引ロボ

(開発者説明) センサー付きの尿パッドを使用することによって瞬時に尿を吸引する。おむつのムレがなくなり清涼感があり、褥創の軽減につながる。QOL の向上をはかるため小型化をはかっている。

Q. 就寝時に体に密着させるにはどのようにしているのか？

A. やわらかく伸びる素材でつくられている伸縮ネットで押さえている。

Q. おむつの中に便をしてしまったらどうなるのか？

A. この機器は尿しか吸引する機能を持たないので、アラームが鳴るしくみになっている。

Q. 消臭剤としてどのような工夫をしているのか？

A. 活性炭を使用しているが、結露を起こすので半年ほどで交換する必要がある。

Q. 小柄な人用など、さまざまな体型に合うサイズがあるのか？

A. 男女、個々の人の体格も身体的特徴も異なるが、現段階ではコスト面なども難しく商品は分けていない。さまざまな体型に合うおむつづくりは課題でもある。



2. マインレット夢／自動排泄処理装置

(開発者説明) オムツをはめる要領で、陰部に柔らかい素材でつくられた専用のカップをつけて、その上に専用のカバーで身体に装着させて使用する。本装置は尿のみならず便にも対応可能である。介護負担軽減のために開発された。

(開発者欠席のため、事務局がパンフレットにて説明)

3. SW - 10／光触媒セラミックフィルターによる環境浄化装置

(開発者説明) 光触媒セラミックフィルターによってタバコの煙・においなど悪臭物質や有害物質を分解させ、空気を浄化する装置。

Q. 本当に臭いを分解することができるのか？

A. この場でコーヒーを使用して消臭効果の実験をしたい。

(写真；コーヒーをペーパーに浸しフィルター前に置いて背後で匂いを嗅ぎとる実験)

Q. トイレと同室の浴室内で使用したいが、可能か？

A. 水はね程度なら問題ないが、光触媒は表面分解なので、湿度 80%が限界であるため、浴室などの湿気の多い場所では難しい。



4. 商品名：SOS 携帯トイレ／高分子給水ポリマー使用の携帯トイレ

(開発者説明) 東日本大震災を受けて考えられた携帯トイレは、約 500cc の水分を吸収でき、受け口は柔らかいウレタン素材で作られているため、女性にも使いやすい構造となっている。また高分子ポリマーが液体を瞬時にゼリー状に固め、さらに本体内部の逆止弁防止二重構造により、水や汚物を漏らさない。



5. おむつ

(開発者説明) ずれない・もれない・皮膚に負担をかけないなど、日々改良、工夫がなされている。
(開発者欠席のため、事務局が商品を用いて説明)